

## 学校・保護者・地域のいじめ防止に関する意見交換の実施状況

### 1. 趣旨

平成29年4月の自死案件を受け、各校において、学校・保護者・地域の三者によるいじめの実態などの情報共有や意見交換をする場を設定することで、いじめに関する認識を深め、協働で未然防止やその解決に向けて取組む意識を高める。

### 2. 実施概要

- (1) 開催時期 平成29年6月～7月（夏季休業前）
- (2) 参加者例 学校評議員、PTA本部役員、健全育成会、町内会役員等
- (3) 内容例
  - ① 学校のいじめ防止基本方針の説明
  - ② いじめに関する実態報告
  - ③ いじめ防止対策等についての意見交換 等

### 3. 各校における実施状況（7月21日まで報告済みのもの 最終締切8月10日）

#### (1) 実施形態

ほとんどの学校が、学校関係者評価委員会や学校評議員会の開催時に実施。  
さらに、同組織に地域の関係機関などを加え、拡大して実施した学校もある。

#### (2) 主な意見等について（抜粋）

##### ① 学校に関すること

- ・人間関係をよく見てもらい、自分から発言ができない生徒など、個別対応の視点を常に持ってほしい。
- ・対処療法ではなく、なぜいじめが起こるのか考える必要がある。子供の心の中にあるものを発散し、子供の根底に寄り添うことが大切。
- ・芽を摘み取ることも大切だが、芽が出ないような環境作りが、より大切と思う。
- ・グレーゾーンと言われる子供たちへのケアを大切にして取り組んでほしい。
- ・報道は、中学生が出てくるが、小学校に根っこがある。学校、保護者、地域が、もう少し具体的に、一生懸命できることを、腹を割って話せることが大切だろう。
- ・多様性について考える指導が必要。発達障害も併せて、その人のいいところを、子供に気づかせることがいじめ防止につながる。
- ・学習などがうまくできない子供たちに目を向けることよっていじめの未然防止につながる。

##### ② 親や家庭に関すること

- ・親同士の交流が必要だと思う。親の横のつながりはPTAであり、PTA行事などは情報交換の機会である。
- ・いじめ防止のためにも、もう少しよい親子関係をつくる必要がある。小学校に、家庭ですべきことを全て任せきりではないだろうか。
- ・学校でも指導してもらおうが、家庭でも「いじめはだめだ」と繰り返し教えることが大切だ。

- ・子供の命を守るのは親であるという意識を持ちたい。
- ・子供が悩みを保護者に言えない場合もある。しかし変化に気付くのもまた保護者である。保護者と学校、保護者同士のコミュニケーションも重要である。
- ・家庭の役割について勉強したり、話し合ったりする場を設けるのもよい。
- ・子育ての幹は家庭教育である。かまってほしい子供が多く見受けられることから、家庭での親子の触れ合いを大切にする。

### ③ 地域に関すること

- ・地域でも更なるネットワークを作り、地域の力でバックアップしていきたい
- ・地域でどんどん中学生に活躍してもらおう。褒められ、うれしくなって自己肯定感も高まると思う。いじめいじめと言うだけでなくプラスの取組が大切だと思う。
- ・地域が「あなたのことは見ているよ」という雰囲気が必要。
- ・子供や家庭の困っていることを個人や家庭でとどめしないで、学校や地域の問題として取り組む。
- ・未然防止のためにも、自己肯定感を伸ばしてあげたい。地域、施設、民生委員、町内会など、いろいろな立場で多様な視点で子供をとらえることが大切と考える。
- ・地域がもっと横のつながりを持って情報を密にして、学校がしていることをもっと知ったり、学校を支えたりする必要がある。
- ・本来学校は、教科指導が本当は大事である。いじめ対応で、先生たちが疲弊してないか大変心配である。だからこそ、子供たちは、地域みんなで育てていくということが大切である。地域の人たちで子供たちに声を掛けていくことが大事である。

## 4. 発展的な取組事例

西山中学校では、この意見交換を受けて、学校・保護者・地域が一体となって、三者が協働で実施できるいじめ防止の取組等を生徒と共に検討する「いじめ防止ミーティング」を開催した。

(1) 開催日：平成29年7月20日（木）15：45～17：20

(2) 参加者：学校35名（生徒14名、教員21名） 保護者8名 地域15名

(3) 内容：6つのグループに分かれ、「三者（学校・家庭・地域）でできるいじめ防止」をテーマに意見交流を行った。

(4) 終了後のアンケートから

- ・どうしても、中学生の中だけでいじめをなくそうと思うことが多いが、悩みを聞いてくれる先生がいる、地域の方々がいることを心に留めて生活をしていきたいと思った。（生徒）
- ・四者で話し合う初めての機会、それぞれの立場で子どもたちのことをたくさん思っていることが伝わってきました。また、いろいろなアイデアを実現していくために、また連携していくことも大切であると感じました。（教員）
- ・学校側ももっと遠慮せず情報を公開し、保護者に伝えても良いと思います。まず、連携をしてチームプレーをすることができれば良いのかなと、今日この会に参加して改めて思いました。（保護者）
- ・今後も西山学区の子どもたちのために、継続して意見交換ができればと思います。学校・地域・保護者が一体となって頑張りましょう。（地域）